

② 福島市小鳥の森 (福島市)

③ 阿武隈川岡部白鳥飛来地 (福島市)



環 境

② 福島市小鳥の森

福島市の市街地に隣接した標高100~250mの低山地で、コナラやサクラ、アカマツを中心とした樹木で構成されている。中心施設のネイチャーセンターには、レンジャー（自然解説員）が常駐し、小鳥の森をはじめとする福島市内の自然に関する様々な情報を提供している。

③ 阿武隈川岡部白鳥飛来地

福島市の中心部を流れる阿武隈川の河川敷にあり、「あぶくま親水公園」として多くの市民が水鳥と親しめるよう工夫してある。秋から春にかけての冬鳥渡来時期の休日には、日本野鳥の会福島支部員により野鳥の解説が受けられる。

季 節

② 福島市小鳥の森

小鳥の森では、過去14年間で120種あまりの野鳥が観察されている。中心となるのは林地を好む小鳥類で、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、ヒヨドリなどは年間を通じて見ることができる。春から秋にかけてはサンコウチョウ、ホトトギス、オオルリ、ヤブサメといった夏鳥が姿をみせ、秋から春先まではシメ、ミヤマホオジロ、カシラダカ、マヒワ、ツグミといった冬鳥の他に、アカゲラ、クキイタダキ、ヒガラ、ピンズイ、クロジなどの山地から降りてきた野鳥も観察することができる。一方、山すそにある休耕田、沼、せせらぎにはカワセミやカイツブリ、キセキレイ、カルガモなどの水辺の野鳥を見ることができるし、その周囲の水田や畑との境界部分ではホオジロ、コジュケイ、キジ、カワラヒラ、ベニマシコなどの開けた場所を好む野鳥も生息している。

初心者には、木の葉が落ち見通しの良くなった冬からのバードウォッチングがよい。特に、エサ場に集まるたくさんの野鳥をネイチャーセンターから望遠鏡や双眼鏡を利用したバードウォッチングは多くの人に楽しまれている。

③ 阿武隈川岡部白鳥飛来地

例年10月の中旬頃にコハクチョウの先発隊が渡来する。その後幼鳥を連れたコハクチョウが続々と加わり、11月の中旬にはオオハクチョウも姿を見せ、オナガガモ、マガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ヒドリガモなどのカモ類も混じり、大きな鳴き声が聞かれるようになる。12月に入ればカワアイサ、ミコアイサ、トモエガモなども対岸などに見られるようになり、阿武隈川は最も華やかな賑わいを見せる時期となる。

一方、河畔ではオオブタクサの実を求めるシメヤカワラヒラの群れ、スキの原にはホオジロ、アオジ、ベニマシコ、ウグイス、キジなどが見られ、川岸ではセグロセキレイ、ハクセキレイ、イソシギ、時にはハマシギの群れが川面を舞うのも観察できる。早朝にはヤマセミ、カワセミも姿を見せ、またオオタカが渡来したカモを狙って現れカラスと争う姿を見ることもある。その他アオサギ、コサギ、ゴイサギなどのサギ類も観察することができ、年によってはマガンやヒシクイ、ミサゴなどの稀種も姿を見ることがある。

3月下旬、毎年決まったようにハクチョウやカモたちの渡去が始まり、一瞬阿武隈川は静かになったかのように見えるが、川原ではヒバリやホオジロがさえざり始め、川面では早くもイワツバメが飛び交う姿が見られる。5月にもなるとオオヨシキリやコヨシキリ、ホオアカなどの夏鳥が渡来し、またカッコウの鳴き声が響き、冬とは違った賑わいを見せてくれる。

交 通

JR福島駅東口より福島交通バス「文知摺・保原」方面行き乗車、「岡部」で下車。白鳥渡来地まで徒歩5分。福島市小鳥の森まで徒歩15分。車利用の場合は、共に大きな駐車場がある。

